



コペンハーゲンの美しい街並み

計量 やま がた

(一社)山形県計量協会
〒990-2473
山形市松栄二丁目2-1
電話 (023) 644-9811
FAX (023) 644-9810
<http://www.keiryou-yamagata.net/>
E-mail:keiryou-yamagata@sepia.ocn.ne.jp

**適正な
計量・計測は
地球を救う**

新年あけましておめでとうございます。ロシアとウクライナ、そしてイスラエルとハマスの戦争、物価の上昇、経済の低迷、気候変動問題の深刻化など、世の中、とても混沌としていて、全体的に見たら、昨年はあまり良い年ではなかったなと思います。今年こそは、各地での紛争が終結し、経済的にも安定した平和で明るい年であってほしいと願わずにはおれません。



年頭の挨拶

会長 河合直樹

さて、会長に就任してから二年半が経過しました。環境計量出身故に一般計量の知識には疎いことから、まずは職員といっしょに現場に赴き、業務の視察を行うことにしました。所在場所のはかり検査業務では、二十キロの分銅を十個以上台車に乗せ、設置場所まで移動し、分銅を検査対象のはかりに規定個数乗せたり下ろしたりする作業を繰り返します。一台検査しただけで職員は汗だくになってしまいました。これを毎日繰り返していたら、慢性的な腰痛を発症してしまうのではないかと危惧するとともに夏場などは熱中症リスクも相当高いと感じました。今後、従業員の安全管理に十分配慮していかなくてはならないと思っています。

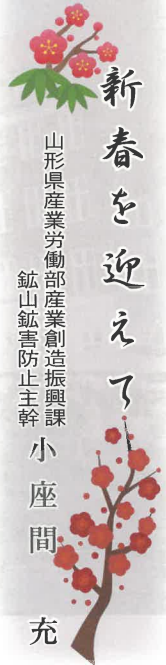
があることは承知しています。しかし、その意義は、結局、当事者の意識で決まるのだと思います。今後も計量行政への意見具申の場として、あるいは関係者相互の情報交換の場として、継続していくべきと考えます。そして、いよいよ、令和七年度の大会は山形県が当番になります。「山形らしさ」が感じられるような心に残る大会にしたいと思っています。関係者各位から様々なアイデアをいただければ幸いです。

昨年十月には、札幌市で東北・北海道計量大会が盛大に開催されました。大会の開催意義について、様々な意見

十一月一日の計量記念日に計量証明部会発足四十周年記念式典が挙行されました。部会発足当時の状況を思い出しながら感慨にふけるとともに四十年前には考えもしなかったレベルで環境問題が複雑かつ深刻化してしまっていることを改めて認識せざるを得ませんでした。これを機に「正確な測定分析業務を通じて、地域の環境保全のために寄与していく」という社会的使命の認識を新たにするとともに地球環境問題、化学物質管理など新たな課題に貢献できる人材の育成に尽力していただきたいと思っています。

昨年十月には、札幌市で東北・北海道計量大会が盛大に開催されました。大会の開催意義について、様々な意見

お陰様で令和五年度事業は、ほぼ計画通りに進捗しています。関係者各位のご理解、ご協力、そして職員諸君の誠実な業務の遂行に心から感謝しつつ、新しい年が幸多きことを祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



山形県産業労働部産業創造振興課
鉱山鉱害防止主幹 小座間 充

新年明けましておめでとうございます。貴協会におかれましては、本県の指

定定期検査機関・指定計量証明検査機関として、適正な計量業務の実施に御尽力を賜り、心より感謝申し上げます。また、会員の皆様には、本県の計量行政の推進にあたり、日頃よりご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

これまで猛威を振るった新型コロナウイルスが昨年五月に感染症法上の五類に引き下げられたことを契機に社会活動が活発になってまいりました。このような状況の下、貴協会及び会員の皆様におかれましては、経済活動や生活が大きく変貌する中で、日々奨励されておられることに深く敬意を表するものであります。

コロナ禍前に戻ったものの、戻らないもの、新たに生まれたものなど、昨年は、様々な変化が生じた年となりました。この変化はさらに加速し、地域社会に定着していくものと感じております。とりわけ、日々進化しているデジタル技術において、キャッシュレス決済やテレワークの普及など、私たちの生活の身近なところに浸透し、暮らしや働き方、価値観が大きく変容してきたと感じております。このような社会の変化を前向きなチャンスと捉え、新たな価値を創出し社会課題の解決へと結びつく積極的なチャレンジを後押しすることが大切だと考えております。そして、デジタルやグリーンなど新たな技術を積極的に取り込み、産業振興と暮らしの質を向上するDXや、カーボンニュートラルと経済発展を同時に

実現するGXを推進し、本県の成長につなげていけるよう県も必要な施策を進めてまいります。

さて、山形県における話題として、昨年二月に総務省が実施する「家計調査」結果が公表され、山形市は中華そば外食費で全国一位に、また、十月には「日本ご当地ラーメン総選挙」で酒田のラーメンが全国一位になりました。県内で消費が盛んなラーメンとそばを観光資源に、やまがたの魅力を生かそうと、県は「ラーメン県そば王国」の商標を申請しました。そして、LINE公式アカウントでの情報発信やイベントの開催など、普及活動が展開されており、つや姫が広く波及したのは県民がセールスマンになってくれたから。地域から美味しいものを広げて、「ラーメン県そば王国」が山形の誇れる財産になるよう盛り上げていきたいと考えております。

また、計量にかかる昨年の取り組みを共催事業として「親子はかりつくり教室」を開催するとともに、「くらしと計量展」を四年ぶりに対面式で行いました。六月には「やまがた紅王デビュー記念イベント」に計量ブースを設け、県民の皆様が身近なものであることを周知してまいりました。今年も貴協会と一層連携を深め、普及・啓発事業に取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、山形県計量協会の益々の御発展と、会員の皆様の御多幸を祈念いたします。新年の挨拶とさせていただきます。



山形市計量検査所 所長折 原 浩 文

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、山形市の指定定期検査機関として、適正な計量の実施に向け御尽力をいただき感謝申し上げます。また、会員の皆様には、計量行政の推進にあたり、日頃より御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、発生から四年目を向かえた新型コロナウイルス感染症の位置付けが五類感染症に移行し、社会経済活動がようやく活発化してきた年となりました。山形市におきまして、八月の山形花笠まつり、九月の日本一の芋煮会フェスティバル、十月の山形まるごとマラソンが四年ぶりの通常開催となり、大変な賑わいとなりました。

しかしその一方では、ロシアによるウクライナ侵攻や急速に進んだ円安などの影響により、エネルギーや食品等、生活に欠かせない品々の価格が上がり、私たちの生活に大きな影を落としました。また、山形市における猛暑日が二十日となり、九十四年ぶりに記録を更新するなど、暑さが厳しい年でもありました。

そのような中、山形市計量検査所として、商品量目、燃料油メーター、証

明用電気計器(子メーター)の立入検査を計画通りに実施することができました。また、貴協会、山形県との共催事業として「親子はかり作り教室」を開催し、小学生の親子がはかりのことを学び、棒はかりを作ることで、計量に関心を持つていただけられる機会を提供することができました。また、イオンモール山形南にて「くらしと計量展」を開催し、来場者の皆様から各種イベントを通じ、計量の大切さを楽しみながら認識していただくことができました。

現在、社会のDXの進展に伴い、新しい計量器の研究等が進められておりますが、計量制度は、社会生活の最も基本的かつ根幹をなすものであり、どのように社会の変遷を経験しようとしても、計量の果たす役割の重要性に変わるところはありません。

本市では引き続き、特定計量器定期検査の適正な運用、立入検査業務の強化や一般消費者を対象とした各種啓発事業を積極的に実施して参ります。貴協会におかれましては今後とも、一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、山形県計量協会の益々の御発展と、新しい年が会員の皆様にとりまして飛躍に満ちた輝かしい年になりますことを御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

環境計量証明部会長 大高 廣 志

二〇二四年、新年明けましておめでとございます。

本年は、辰年、ドラゴンの年であり、現実には居ない動物であります。光に照らされ、急速な成長と変化が起る年」と言われております。

皆様方には、日頃より、環境計量証明部会及び会員にご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

二〇二三年は、新型コロナウイルスは落ち着き状況となり、二類から五類と緩和され、通常の経済、生活に戻っているもの、ウイルスが根強く残り、また、新型コロナウイルスの何年に亘る予防対策により、インフルエンザ等のウイルスに対する免疫力の低下により、多量の病気が流行しました。

また、経済は、通常状況に戻ったものの、数年に亘る景気の悪さから脱却できず、物価のインフレに対して賃金のデフレ現象とアンバランスが起きています。

当部会は、昨年、皆様方のご支援、ご指導のお蔭を持ちまして、昭和五十八年に山形県環境計量分析協会として設立してから四十周年を迎え、二〇二三年十一月一日計量記念日に式典、祝賀会を開催させて頂きました。四十年を節目として新たな気持ちで部会の発展、社会的地位の向上を目指して行きたいと存じます。

詳しい四十周年記念式典の記事を別紙にて紹介させて頂いております。

本年もロシアによるウクライナ侵略戦争、イスラエルの戦争による悲惨な状況、人類の文明科学が起きている地球温暖化が、豪雨、干ばつ、大気、海洋等の汚染が自然、生活環境を崩し、戦争、温暖化が、食糧、エネ

ルギー等の問題が経済、生活に大きく影響し早期の解決を迫られている。

ドラゴンの本年は、人類の英知を集め、平和な青い美しい地球があまねく光にてらされる未来を望み、色あせた技術立国日本が再生し、磨かれた技術で、急速な成長と変化が起き、住みやすい社会になる年である事を期待しております。

当部会は、環境計量士が所属する環境計量事業所として山形県から登録を得た企業で組織しており、現在は、十九社で構成しております。

業務内容
大気部門 大気汚染状態の調査解析
水質部門 河川、上下水道、工場排水、温泉等の水質調査解析

騒音振動部門 道路、工場商業施設の騒音振動の調査解析

上記三部門の国家資格の環境計量士が計量調査、解析評価を行っております。

二〇二三年度研修会

- (一) 九月十七日、山形大学と共催・幼児、小学生のスライム教室
- (二) 十一月一日、四十周年記念特別講演 五十名参加
- (三) 十二月一日、クロスエック他の研修会、業務領域拡大の検討、環境調査、環境アセスメント調査等

広報活動

- (一) 実態見合った業務を請け負う為の要望活動
- (二) 環境計量証明の技術者、資格、会社概要を記載した会員名簿を配布し、知名度アップを行っております。

最後に成りますが、本年もご指導をお願い申し上げます。



新年のご挨拶

計量士部会長 竹田 和彦

新年あけましておめでとございます。皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年ロシアのウクライナ侵略の影響で、原材料・原油価格の高騰により消費者物価指数が上昇したこと、国民生活や経済への影響が依然として続いています。政府の価格激変緩和措置によってガソリン・電気・ガス代は緩やかに低下していますが、未だ苦しい状況が続いていると思われ、今年こそは、安心・安全な日常を守り、快適な生活となるよう願うばかりです。

新型コロナウイルスも、季節性インフルエンザなどと同じ五類に移行し、マスク着用の義務や外出自粛の要請などがなくなり、飲食を伴う会合・懇親会が開かれ、コロナ以前の姿に戻りつつある一年であったと実感しております。

また、声出し応援の解禁となったスポーツでは、熱狂・飛躍した年だったのではないのでしょうか。WBCでは、侍ジャパンが三大会ぶり三回目の優勝を果たし、優勝の立役者の大谷翔平はホームラン四十四本とアメリカンリーグのホームラン王を獲得し、大リーグ史上初の偉業を成し遂げました。さらに、FIBAバスケットボールワールドカップが沖縄県で開催され、日本代表が二〇二四年のパリオリンピック出場権を四十八年ぶり自

力で獲得したなど、日本のスポーツ選手の躍進が目覚ましく、すべての子どもたちに希望と勇気を与えてくれた年だったのではないかと思います。

さて、部会活動としては、福島県で開催された東北・北海道計量士協議会に参加してきました。

自動捕捉式はかりの検定に関する協議ということもあり、東北・北海道で活躍する計量士が一堂に会し、活発な意見が述べられた会議でした。日本計量振興協会の村松常務理事、指定検定機関のアリソンフィビス(株)鈴木検定部長による「計量制度と計量士」・「自動捕捉式はかりの検定体制」の講話では、指定検定機関(五社)と計量行政室との協議では、各地区での講習会開催を要望されたことや北海道での移動距離の問題や冬季での道路状況等、検定台数に対する検定実施者の確保が難しく、各地区の計量士へ協力が必要であると説明されました。

令和六年四月から自動捕捉式はかりの検定業務が本格的に開始されることとなるが、今も様々な懸念事項を抱えている状況でのスタートとなるので、当部会も今後の計量法制度、計測機器に関して、計量士としての最新の技術と知識の習得に努めていきたいと思っております。

最後に、会員皆様のご多幸と益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

産業創造振興課からのお知らせ

産業創造振興課計量担当の業務内容

- ・計量関係事業者の登録及び届出等
- ・商品量目、特定計量器、計量関係事業者への立入検査
- ・計量法に基づく指導、啓発
- ・委託先の計量協会との連絡、調整

令和5年度の人事異動後の配置職員

- 産業創造振興課長 奥山 敦
- 鉱山鉱害防止主幹 小座間 充
- 計量主査 佐藤 寛幸
- 主 事 遠藤 佑一

連絡先

山形市松波二丁目8番1号
電話023(630)2115

計量行政の動向について

計量関係手続きについて、一部を除いて、書面等への押印は不要としております。

計量器販売事業者へのお願い

計量法では、取引・証明に使用する計量器は検定証印等が付されているものであり、二年に一回の定期検査を受検することになっております。

取引には継続的に商品量を計量し、販売すること等が該当します。証明は、他人に一定の事実を表明することとされていることから、学校、幼稚園、保育所等での健康診断における体重測定のための計量や、医療機関等で行われる調剤のための計量も該当します。計

量器の販売においては、計量器がはかることができる重さの使用範囲や、顧客の用途を充分確認の上、取引・証明に使用する場合は、検定証印等が付された計量器を供給していただき、併せて定期検査の受検義務についても周知していただくようお願いいたします。

計量証明事業者へのお願い

計量証明事業を行う場合は、県へ登録をしなければなりません。登録をする際に、計量士又は主任計量者が計量管理を行うものであることが要件となりますので、改めて登録の要件等のご確認をお願いいたします。

なお、県では主任計量者の資格を取得できる主任計量者試験を年二回(例年六月と十二月)開催しております。また、計量証明事業者が保有する計量設備に関しては、設備毎に定められた期間により計量証明検査を受検する必要がありますので、受検漏れのないようお願いします。

さらに、事業所所在地の変更等、届出が必要となる場合がありますので、変更が生じた際は、ご確認をお願いいたします。詳しくは、産業創造振興課までお問い合わせください。

令和二年四月一日から、登録申請、変更届等の添付書類の一つであった欠格条項に該当しない旨の「誓約書」の添付を廃止しておりますので、御留意ください。

山形市計量検査所からのお知らせ

一 全国特定市計量行政協議会

全国の特定市(百二十六市)で組織しており、特定市間の緊密な連携を図り適正な計量の実施を確保するため、各種事業を実施しております。

なお、令和五年度全国特定市計量行政協議会東北地区会議が福島県会津若松市にて開催され、次の項目について協議や意見交換を行いました。

- 昨今の物価高騰に伴う定期検査手数料変更の検討について
- 二 特定計量器定期検査

平成十八年より、一般社団法人山形県計量協会を山形市の「指定定期検査機関」に指定し、定期検査の全部を委託しました。

定期検査は、商店・医院等で取引又は証明行為に使用する特定計量器を対象に、山形市内を東西に分け、二年に一回の周期で実施しており、令和五年度は西部地区の検査を実施しました。

三 立入検査

① 商品量目立入検査

全国計量行政会議(事務局・経済産業省)の実施計画に基づき、全国一斉商品量目立入検査として実施しました。

- ・立入事業所 市内量販店等十七店舗
- ・検査結果

立入検査を行った十七店舗全てにおいて、量目不足は確認されず、適正計量を行っていました。今後も適正計量の継続をお願いしました。

② 燃料油メーター立入検査

- ・計量器の封印線の着脱及び検定有効期間の管理状況を検査しました。
- ・実施月 令和五年十月
- ・立入事業所 市内七事業所

- ・検査台数 五十五台
- ・検査結果 検定証印、有効期間及び封印状況のいずれも適正であることを確認しました。

③ 証明用電気計器(子メーター)立入検査
検定証印等の有無、有効期間及び封印の状況等についての検査を実施しました。

- ・実施月 令和五年九月
- ・立入事業所 市内二事業所
- ・検査台数 十三台
- ・検査結果

一台の計器について不適正が確認され、至急改善されるよう指導しました。その後、改善されたことを確認しました。

四 啓発事業

① くらしと計量展
十一月一日の計量記念日にちなみ、山形県産業創造振興課及び山形県計量協会との合同で、イオンモール山形南にて計量啓発パネルの展示及び計量のひろばの配布、計量クイズ等のイベントを開催し、来場者に対して計量に関する意識の向上を図りました。

② 親子はかり作り教室
夏休み期間中に、山形県産業創造振興課及び山形県計量協会との合同で親子参加型の啓発講座を開催し、計量に関する関心の醸成を図りました。

実施月/ 立入店舗数	前期8月/9店舗 後期11月/8店舗
検査商品数	前期375個 後期277個
不適正商品数	0個

令和五年度東北・北海道計量大会
第七十次東北六県北海道計量協会連合会総会

令和五年度東北・北海道計量大会及び第七十次東北六県北海道計量協会連合会総会が、(二社)北海道計量協会当番により、令和五年十月五日(木)札幌市の「ANAクラウンプラザホテル札幌」に於いて計量行政機関、計量団体、会員等関係者約二〇〇名が一堂に会して開催されました。本県から十三名参加していただき誠にありがとうございました。

◎東北・北海道計量大会

はじめに昨年度物故者へ黙祷を捧げ、本郷嘉彦東北六県北海道計量協会連合会会長(二社)北海道計量協会)挨拶後、長年、業界の発展並びに計量思想の普及啓発に尽力された方々への計量功労者表彰が行われました。

本県からは、長年計量行政に従事され、本県計量業界の第一人者として計量思想の普及啓発に多大なる貢献をされた武田憲一氏(当協会副会長/一般計量士)が受賞され、表彰状と記念品が贈呈されました。

計量大会を記念し、社会福祉法人石狩市社会福祉協議会へ「車いす体重計」を寄贈。その後、大会宣言が読み上げられ満場一致で採択され、本大会は滞りなく終了しました。

◎連合会総会

大会に引き続き、第七十次東北六県北海道計量協会連合会総会が、本郷連合会会長を議長に開催されました。提案議題は次のとおりです。

議題一、自動はかりに係る指定検定機関の指定状況等について(福島県)

議題二、連合会総会の次期開催地

について(北海道)

議題一については、福島県より、今般、検定の対象となった「自動はかり」について、検定開始時期や指定検定機関の情報、また、その他三器種の指定見込み、内容について計量行政室に見解を求めました。これについて計量行政室より、現在のところスケジュール等の変更はないが、それぞれの器種について詳細調査を行い、今後の対応を検討していくと発言されました。これに対し、福島県より、自動はかりについては適正な計量の確保と国民の負担に繋がらないよう対応してほしいと要望されました。



第四十三回東北・北海道計量士協会議北海道

この協議会は、東北・北海道をもって組織し、計量士の技術の向上発展並びに相互の連絡協調を図ることを目的とし、毎年一回輪番制で開催している。

◆期日 令和五年十二月十四日(木)

◆場所 杉妻会館四階

◆主催 福島県計量士会(福島県)

◆講師 (二社) 日本計量振興協会

常務理事

村松 徳治氏

アンリツインフイビス㈱

取締役 検定部長 鈴木 隆氏

◆出席者 一般計量士 三十五名

《議事》

福島県計量士会 高橋稔会長が議長となり、各道県より提案された議題について協議が行われた。

議題一、自動はかりの検定開始に伴う地域計量士の果たす役割について

議題二、自動はかりの指定検定機関との連携・協力について

議題三、家庭用計量器の対応について

議題四、計量士の登録条件について

議題五、時期開催道県について

今回の議題では、自動はかりの検定に関連する事項が二つあり、指定検定機関のアンリツインフイビス㈱

鈴木様のご意見等も交え、他議題についても各道県の実施状況や対応等について意見・情報交換が行われた。

また、令和六年度は北海道での開催が了承された。

《講話》

村松徳治常務理事より、「計量制度と計量士」と題し、最近の計量情勢及び計量士技術講習会の動向、全国計量士大会について説明が行われた。

鈴木隆検定部長より、「自動捕捉式はかりの現状」として、北海道・東北ブロックで管理している検定台数、検定実施時期の説明がなされ、二〇二六年度が検定台数がピークとなり、検定実施者の確保が重要課題となるため、各計量士への協力を要望された。



計量功労者表彰 ～おめでとうございます～

令和五年度に計量功労者として次の方々が受賞されました。

◎(一社)日本計量振興協会会長表彰

高橋 淳一氏 (山形県石油商業協同組合/協会理事)

◎東北六県北海道計量協会連合会会長表彰

武田 憲一氏 (一般計量士/協会副会長)

◎(一社)山形県計量協会会長表彰

高橋 正氏 (㈱ニッコウ電機商会)

◎(一社)山形県計量協会会長表彰

斎藤 智成氏 (エヌエス環境㈱)

2023 計量思想普及・啓発事業

(山形県・山形市・計量協会共催)

くらしと計量展体験イベント

～6月24日(土)～



山形県期待のさくらんぼ大玉・新品種「やまがた紅王」のデビューを記念して、最上川ふるさと総合公園（寒河江市）を会場に行われた、やまがた紅王デビュー記念イベントに【くらしと計量展体験イベント】を出展いたしました。

当日は晴天に恵まれ、様々なイベントが開催される中、「重さ当てクイズ」「計量クイズ」「計量啓発パネルの展示」など、見て・触れて・感じていただく体験型イベントを行い、計量について興味・関心をもってもらい、理解を深めていただきました。



親子はかり作り教室

～7月29日(土)～



小学生の夏休みに合わせた特別企画として、山形市消費生活センター（霞城セントラル）にて、【親子はかり作り教室】を開催いたしました。

今回は、小学3～6年生の児童と保護者6組15名の参加があり、当日はテレビ局や新聞記者の取材に囲まれ、緊張しながらも親子で協力して「棒はかり」を作成していただきました。



くらしと計量展 ～10月29日(日)～



イオン山形南店2Fを会場に【くらしと計量展】を4年ぶりに開催いたしました。



当日は幅広い年代の方々にご来場いただき「キャンディの重さ当てクイズ」「計量クイズ」「計量体験コーナー（骨密度測定器・血管年齢判定機）」「計量啓発パネルの展示」などを行いました。



自分の感覚・直感を頼りに挑戦するキャンディの重さ当て、デジタルが主流の現代で馴染みのない皿はかりを使った重さ当て（計量クイズ）では悪戦苦闘しながらも挑戦する姿、自分の健康の数値（計量体験コーナー）を心配そうに見つめる表情など、様々な姿・表情が見受けられました。

計量器・分銅の計量管理

■計量機器、測定機器及び分析機器の検査、校正実施いたします。

当協会では、適正な計量器（はかり）、分銅の使用観点から、生産工程・品質管理などで使用されているはかりや分銅の検査、校正を実施しております。これらの検査、校正は適正な計量管理や信頼性の向上等に繋がりますので、御要望のある方は、ご連絡ください。

◆詳細は、山形県計量協会ホームページ又は次のQRコードをご確認ください。



校正のご案内 (PDF形式)



環境計量証明部会四十周年記念式典

当部会は、環境測定分析に関する技術の向上並びに事業の効率化の推進を図るとともに、環境計量証明事業者の地位及び資質を向上し、社会的な信頼性を高めることにより、環境保全に寄与することを目的として、昭和五十八年に山形県環境測定分析協会を設立し、昭和六十二年に現在の一般社団法人山形県計量協会環境計量証明部会へ編入、そして昨年設立から四十年と節目の年を迎えました。

- ◆期 日 令和五年十一月一日(水)
- ◆場 所 ホテルメトロポリタン山形
- ◆出席者 五十四名(部会員 全十九社)

《基調講演》

東北芸術工科大学

建築・環境デザイン科

教授 三浦 秀一氏

演題 「気候変動エネルギー問題の潮流と山形」



基調講演 講師：三浦秀一教授

《記念式典・祝賀会》



記念式典 大高部会長の挨拶



祝賀会 祝舞(山形舞妓)

最後に、おかげさまをもちまして当部会は設立四十周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご指導・ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後当部会は、環境測定分析に関する技術の向上と適正な環境計量の実施を確保するため各種事業に取り組みに取り組みます。本会が展でできるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



あ と が き

新年あけましておめでとうございませう。新たな年の初めを迎え、皆さまには健やかに過ごしていただくこと、お慶び申し上げます。

二〇二三年は、新型コロナウイルスの規制が緩和され、ようやく国内・海外旅行に行けるようになりました。私自身も昨年九月にデンマークとフィンランドを旅しました。

北欧はデザイン性に優れ、家具・照明・食器など色使いのつややかさや街並みの自然な雰囲気や優しく包み込んでくれました。(表紙の写真は、デンマークの首都、コペンハーゲンの美しい港町です。)

普段の生活では、自分の価値観や考え方が当たり前のものになっていきましたが、異なる文化や価値観に触れることで自分自身を客観的に見つめ直すことができ、「素の自分」に出会うことで自分という人間を再形成できたのではないかと思います。

今年の干支「辰」は、昇り龍などの表現があるようにすべての運気が上向きになる年とされており、昨年以上に多くの経験をj得て、実りある1年としたいと思います。

最後になりましたが、皆様のさらなるご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。(東海林泰希)



かけがえない水 認知と技術でリサイクル **東北環境開発株式会社**

水、空気、土壌の分析

信頼のあるデータを
提供いたします。

- ・水道法に基づく水質検査、建築物飲料水水質検査、プール水水質検査
- ・室内環境分析(シックハウス)、作業環境測定、悪臭分析、排ガス測定
- ・事業場排水・環境水(河川海域等)分析、土壌・底質分析、産業廃棄物分析
- ・土壌汚染調査、騒音・振動測定
- ・アスベスト事前調査・測定

本社 〒997-0845 山形県鶴岡市下清水字打越2番地の1
TEL 0235-24-3110 FAX 0235-24-3859
支店 酒田・山形・山形分析センター

会員皆様の御多幸をお祈り致しております。

はかり・圧力計・工業用計器及び各種材料試験機の販売、修理
調整・検査などを、主にしております。

株式会社 酒田衡器

〒998-0105
酒田市広野新田字川端割45番地の9
TEL 0234-91-1355
FAX 0234-91-1356
E-mail : sakata-kouki@triton.ocn.ne.jp



株式会社シーアンドワイ

〒990-2161 山形県山形市漆山字大段1865番地5
TEL : 023-687-1350
FAX : 023-687-1355
E-Mail : office@y-candy.co.jp
URL : <https://www.y-candy.co.jp>

事務機器、事務用品販売・修理

環境関連の各種測定分析(大気・水質・騒音・振動)
作業環境測定(粉じん・特化・金属・有機)・労働安全衛生関連業務



環境省
エコアクション21
認証・登録番号0000022



ISO 9001
JUSE-RA-1508

株式会社 テトラス

〒990-0868 山形市大字志戸田550番地
本社 TEL 023(643)3226 FAX 023(645)6733
庄内ラボ TEL 0234(31)1771 FAX 0234(31)1711

株式会社 **荘内計装**

計 量 士 竹 田 和 彦
経 営 士

(株)クボタ計装 販売・サービス協力会社
(株)イー・アンド・ディ サービス代理店

TEL 0234(33)2011 FAX 0234(33)2001
<http://shonaikeiso.co.jp>

〒998-0061 山形県酒田市光ヶ丘1-7-18

生コンクリート・二次製品製造業用計量・計測器及び材料試験機検査・修理・販売
営業品目

生コンバッチャースケール・各種はかり・材料試験機・エアーメーター・シュミットハンマー・塩分濃度計・恒温水循環装置・ペーハー処理装置・試験器具全般・その他、プラント及び試験機改造工事・保守管理等も行なっております。



TERAOKA

AW-5600II 自動計量包装値付機

SM-6000FF 対面計量ラベルプリンタ

寺岡 はかり —生き残る為のツール!—

- POSシステム・顧客情報システム
- レシートラベルプリンター
- 自動包装機
- 計量器総合

株式会社 協立商会

山形営業所 山形市馬見ヶ崎 2-1-1 ☎ (023) 681-2015
 庄内出張所 鶴岡市平京田屋敷廻 71-4 ☎ (0235) 22-3470

地域に選ばれ続ける
会社を目指して

**高い技術力と
最新設備で
車社会に貢献。**

TECHNOLOGY & FACILITY

ニッコウ電機商会

〒990-2441
 山形県山形市南一番町 11-28
 Tel.023-641-6661
 Fax.023-631-3129

環境マネジメントシステム (ISO14001) ・ 労働安全衛生コンサル ・ 各種環境調査

河合環境コンサルタント事務所 所長 河合直樹

- 技術士 (環境部門) ■ 労働安全コンサルタント ■ 労働衛生コンサルタント
- エネルギー管理士 ■ 環境計量士 ■ エコアクション 2.1 審査員 ■ 環境カウンセラー

〒990-2461 山形市南館 5-6-24 TEL/FAX : 023-645-4539 Email:kawa-nao@jt8.so-net.ne.jp

心ふくらむ都市 夢ふくらむまち

環境調査

環境計量証明(騒音・振動)

建設コンサルタント・補償コンサルタント・
地質調査業・測量業

三協コンサルタント株式会社

取締役会長 大高 廣志
 代表取締役 佐藤 裕之

本社 / 天童市長岡北一丁目2番1号 ☎ 023-655-5000
 山形事務所 / 山形市松波四丁目9番35号 ☎ 023-635-2814
 仙台支店 / 仙台市青葉区木町通一丁目7番21号星コー ☎ 022-214-5585

私たちは、障害を持つ人の「完全参加と平等」を実現させるため、さまざまなサービス事業を運営し、障害のある人達が地域で働き、暮らす権利を保障するために必要な支援活動に積極的に取り組んでいます。

フレ、フレ! みんな!

就労継続支援事業 A 型 (雇用型)
山形福祉工場 (コロニー印刷)
 〒990-2322 山形市桜田南 1-19
 TEL.023-641-1136 FAX.023-641-1334
 e-mail:fuku-info@yamagata-colony.or.jp

<http://www.yamagata-colony.or.jp/>

302 社会福祉法人 山形県コロニー協会

わたしたちは、
あなたの一歩を応援します。